

中執ニュースレター No.6

2005年7月1日発行

東京農工大学職員組合 中央執行委員会

今月号の内容

『組合に入ろう!』キャンペーン・・・・・・・・・・	1
組合からのお願い・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
ビアパーティのご案内・・・・・・・・・・・・・・・・	2
原水爆禁止2005年世界大会へ代表派遣者の募集・	2
第8回～第10回中央執行委員会の報告・・・・・・・・	3
臨時大会の報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
工学部長との話し合い報告・・・・・・・・・・	4
「田植で楽しむFM本町」の中止について・・・・	6
6月の活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7

組合に入ろう!』キャンペーン

梅雨たけなわの今日この頃ですが、いかがお過ごしでしょうか。

中央執行委員会では、4月以降組合員の加入促進を目指して活動を展開しております。この活動を「組合に入ろう!」キャンペーンと名付け、キャンペーン期間を一応7月末までとしています。キャンペーンの特典として、キャンペーン期間に加入をお申し込みいただいた方には、組合費の納入を年内免除とすることにしました。また、加入後すぐに役員に推薦することがないように、申し合わせをしております。

先の臨時大会で、組合費の値下げを決定しました。今月下旬には学長交渉報告会を兼ねたビアパーティを開催いたします。また、まもなくキャンペーン用のパンフレットもできあがります。入りたくなる組合、入っていて良かった組合を目指して、活動を進めていきます。是非、皆様からも未加入の職員に加入お誘いの声をかけていただければ幸いです。

組合からのお願い

組合費の徴収に関して、2つのお願いをします。

(1) 組合費をカードからの引き落としにされている方へのお願いです。カードを更

新されましたら、カードの有効期間を組合事務室までお知らせ下さい。これは、生協に依頼している組合費引き落としの申請書に記載するデータです。

(2) 臨時大会での決定をうけて、11月から組合費が変更になります。そのための基礎データ(生年月日、職種、職階など)の確認調査を開始します。組合からの確認書が届きましたら、ご回答下さるようお願いいたします。

ビアパーティのご案内

職員組合では、下記のようなビアパーティを企画しました。語り合うもよし、飲むもよし、夏の一夜を楽しみましょう。組合員・非組合員を問わず参加できますので、多数の皆さんの参加をお待ちしています。なお、学長交渉報告(職員の人事評価システム)も予定していますので、ぜひお越し下さい。

府中支部主催

7月15日(金) 17時30分より 於: 50周年記念ホール(武蔵野荘)

小金井支部主催

7月22日(金) 17時30分より 於: 小金井支部組合事務室



原水爆禁止2005年世界大会へ代表派遣者の募集

被爆60年にあたる今年の原水爆禁止世界大会に代表派遣者として参加して下さる方を募集することにしました。広島大会、長崎大会どちらか一方の参加でも結構です。日程をご覧いただき、希望される方は7月15日までに組合事務室にご連絡ください。なお、参加費用は組合が募金を募って負担いたします。

8月4日(木) 13時

世界大会 開会総会

(広島県立体育館グリーンアリーナ)

8月5日(金) 午前・午後 分科会、動く分科会

8月6日(土) 朝 = 市主催 平和祈念式典

10時半～13時 世界大会 広島デー集会
8月7日(日)15時 世界大会・長崎のつどい
8月8日(月)9時 テーマ別集会 長崎市内
8月9日(火)10時半～13時 世界大会 閉会総会

第8回～第10回中央執行委員会の報告

第8回(6月14日開催)、第9回(23日開催)、第10回(29日開催)中央執行委員会の議事について報告します。

(1) 臨時大会について

開催日時、会場、議案について確認し、各支部に対して代議員の選出と投票の依頼をすることとしました。詳しくは臨時大会の報告記事をご覧ください。

(2) 事務職員の職務評価について

事務職員を対象にした人事評価システムの導入について検討しました。昨年までは、対象者を副チームリーダーまでとして、試行するとしていたものですが、今年度に入り急遽「実施」するとして、説明会などを開催するに至っています。執行委員会では、説明された内容では職務内容を正當に評価できないことや、不当な扱いを受けた場合の規則や制度が未整備であることから、当局に人事評価システムの再検討と実施の延期を申し入れることとしました。既に申し入れを行い、その文書は皆様にも配布しています。

この件については、学長交渉で取り上げて、組合の考え方を説明することにしていきます。

(3) 「組合に入ろう！」キャンペーンについて

キャンペーンの一環として、学長交渉報告会を兼ねたビアパーティを府中と小金井の両キャンパスで開催することにしました。非組合員にも広く参加を呼びかけることにしています。府中では7月15日、小金井では7月22日の夕方に開催します。

また、まもなく新しいパンフレットができあがります。印刷ができしだい、皆様にお配りすることにしていきます。

その他の主な議題は次の通りです。

「田植で楽しむFM本町」の中止、宿舎修繕費の徴収、部局長交渉

臨時大会の報告

6月29日に開催された臨時大会の報告をします。久野中央執行委員長挨拶の後、議長に朝岡幸彦さん、矢崎省三さん、書記に田中知己さん、高柳淳夫さんを選出して、

議事にはいりました。代議員の出席者は17名でした。第1号議案の「組合規約の改正」は執行部からの趣旨説明の後、淵野中央選挙管理委員長より大会に先立って行われた組合員全員投票の結果報告（圧倒的多数が改正に賛成）があり、討論に入りました。第2号議案の「組合費規定の制定」では趣旨説明後に、討論を行いました。2つの議案は単記無記名投票の結果、それぞれ賛成多数で採択されました。この決定により、本年11月より組合費を値下げすることとなります。平均値下げ額は約1000円で、平均組合費は約3200円となる予定です。

大会で出された主な質疑と執行部の答弁は次の通りです。値下げ後の収支はどのようになるのか。（答）配布した非公開資料のように見積もっている。値下げ後の収支見積もりには、事務機器の積み立てがない、また予備費が記載されていないが大丈夫か。（答）事務機器は買い取りからリースへの変更を考えている。予備費は近年大きな支出もなく、現状の年度繰越金で対応できると考えている。地域の団体への加盟は見直さないのか。（答）昨年度に分担金を減らしたので、それ程の負担ではなくなっている。上部団体への加盟問題は今後どのように議論するのか。（答）加盟分担金は予算に大きな影響を与えるので、予算を立てる年度末、今年は無理なので来年末くらいまでに結論が出るようにすべきと考えている。

その他に代議員から事務職員の人事評価システムの問題が提起されました。また、組合費の改定を機に新たな組合運営への期待表明がありました。

（東城清秀 記）

工学部長との話し合い報告

6月16日に、工学部長及び総務TLと小金井支部組合代表者の間で、教育研究と職場環境に係わる下記の諸問題について、話し合いを持ちました。なお、質問事項は、中央執行委員会が出された改善要求を元に、支部の職代会で討議された内容を、話し合い時間の都合により支部執行委員会で絞り込んだものとなっています。

日時：平成17年6月16日(木) 12:15～12:55

場所：小金井キャンパス中央棟2階応接室

出席者：当局側：松永工学部長、高水小金井地区総務TL

組合側：熊谷小金井支部委員長、田中(邦)同書記長、田中(鶴)支部執行委員、西川支部執行委員、東城中執書記長、平塚書記

(1) 大学の管理運営について

人事における単年度会計により、例えば1ヶ月だけの特任教授などが発生している。これは短期過ぎて果たして大学として有効なことなのか疑問であるし、そのフォローに費やす常勤職員の苦勞も多いようだ。このような場合、予算の弾力的運用により、物品購入などの用途に振替ができないものか。

(回答)この問題については、こちらも気にかけていた。しかし、やはり人事にかけ

る予算は、物品等に振替えてしまうのは本筋ではなく、それはそれで問題もあるので、計画性をもって人員配置を考え任用できるように便宜し、工学部に有意義となるような人事としていく予定だ。

(2) 労働条件関係

例えば、平成17年度の入試も、前期(土曜日)、後期(日曜日)に行われるが、これら休日労働の際に生じる振替休暇の取得法を、より多くの職員が取りやすくなるように、2回の半日休暇に分割したかたちで取得することは検討されているのか。また、採点業務に従事した者に関しては、入試課と人事課との間で討議がなされるようであるが、昨年度は振替休暇についての通知がなかった。今年度は、どのような体制で臨むのか。

(回答)1日休日出勤した場合は、同様に1日単位で振替をするのが基本であって、半日休暇を2日というのは難しいというのが、専門家の見方だそうだ。採点業務に関しては、振替でなく、手当てで対応していたが、本年度は、早い段階で、入試課と人事課の間で対象者に対する扱いをどのようにするべきか協議する方向で考えている。

(3) 職種別要求事項

学科事務、技官、教務職員、助手それぞれの同じ職層の人たちごとに集まることが出来る部屋を確保できれば、横のつながりによる仕事の効率アップが期待できると思われるが、いかがか。

(回答)工学部キャンパスは、専門職大学院の設置、博士課程の定員増により、部屋の充足率が62%程度と低くなっているのが現状だ。これを考慮すると、上記のようなミーティングルームの設置は厳しいが、何か大学に対して有効であるという話が具体的に上がってくるようであれば、今後考える余地はあるのではないかと思う。

フレックスタイム導入についての進捗状況はどのようになっているのか。

(回答)昨年はこちらについて色々議論がなされていたようであるが、今は話が上がってきていない。(このあと、工学部長の方から、「教室系技官の方々は、大学にとって安全管理面などでも大切な存在」という話が強調されました)

新職制としてすでに新聞等でも報じられている助教・(新)助手について、農工大工学部としての対応はどのようなものとなるのか。また一方、農学部にはいないが、工学部に現存する教務職員については、今後どのような将来構想を持っているのか。

(回答)中教審で決まった大学教員の職制に対し、全く違う方向出しをするにはエネルギーが要るし、おおむね従う方向だろうと思う。教務職員の場合は、俸給表の件などで不安感があるとも思うが、十分認識している。しかし、ただいまのところ、いろいろな兼ね合いで考え中である。これらの人事のことは、独法化になった今、従来の定員管理の他、大学全体の人件費の問題が絡んでくることになったので、それらを

半々で考慮しながら慎重に対応していくことになる。

最後に、組合側から、「不当な給与低下や任期制適用などの労働条件の悪化、そして職員のモチベーションが下がるような人事はやめていただきたい」と要望しました。
(田中邦明 記)

「田植で楽しむFM本町」の中止について

6月11日に予定していた「田植で楽しむFM本町」は、最終的にFSセンターから使用許可が得られなかったため、急遽中止とすることになりました。申し込みをいただいた皆様には大変ご迷惑をおかけしました。お詫び申し上げます。

FSセンターは、組合が申請した圃場は既に他の教員の実習で使うことになっているので、圃場の又貸しになること、教育研究が優先であること、などの理由から許可できないという回答でした。執行委員会は使用教員の同意も得て申請書を提出していたわけですが、やむなく中止を決定しました。

執行委員会は、職員やその家族が大学の施設の社会的な役割について理解することは「開かれた大学」を作っていくための第一歩だと認識しており、そうした行事を責任ある団体としての組合が行うことは何ら問題がないと考えています。センターへの正式な要請をもとに、来年度以降の実現を目指します。

6月の活動

- 6/7 小金井支部執行委員会
- 6/9 中執ニュースレターNo5配信
- 6/9 全大教関東会計監査
- 6/10 府中労連大会
- 6/14 府中支部職場代表者会議
- 6/14 第8回中央執行委員会
- 6/16 工学部長との懇談
- 6/20 都大教会計監査
- 6/21 労金
- 6/23 人事評価システム再検討要求(申し入れ)
- 6/24 第9回中央執行委員会
- 6/27 朝ビラ配布(人事評価システム)
- 6/29 府中支部執行委員会
- 6/29 臨時大会
- 6/29 第10回中央執行委員会

編集後記

あっという間に梅雨のじめじめとした季節がやってきました。

最近では、人事評価システムについてなど私たちを取り巻く環境は厳しさを増しており、執行委員会でも様々な問題について討議を重ねているところです。また「組合に入ろうキャンペーン」によって、少しずつではありますが組合に新たに参加して下さる方もおり、活動が目に見える形で結果に結びつきつつあるのかなと思っていました。

ところが「組合に入ろうキャンペーン」について非常勤職員の方に話したところ、「組合に非常勤職員も入れるのですか？」という驚愕の一言が！「あ～、やっぱりまだまだか」とちょっと落胆もしましたが、まだまだやれることがある、という気持ちで新たに取り組んでいきたいと思います。そして、少しでも明るい気持ちで夏の季節を迎えたいものです。

(田中文恵)

発行 2005年7月1日

東京農工大学職員組合中央執行委員会

TEL: 042-367-5797 (府中)

042-388-7202 (小金井)

E-mail: kumiaif@cc.tuat.ac.jp

HP: www.tuat.ac.jp/~kumiai/index.htm